

中期Vision 2026

予報技術のチカラを世界へ解き放ち、
あらゆる人が、あらゆる場所で、
気象の変化が来る前に行動できる世界へ。



2025年の市場規模と現在地

気候変動災害による
経済損失 (2025年)



約**39兆円**

グローバル気象
ビジネス市場 (2025年)



約**4,300億円**

当社が現在
創出している価値



約**245億円**

世界の気象課題に対し、
当社の提供価値は未だ限定的

2030年のスケールで見る市場規模

気候変動災害による
経済損失 (2030年予想)

約**60兆円**

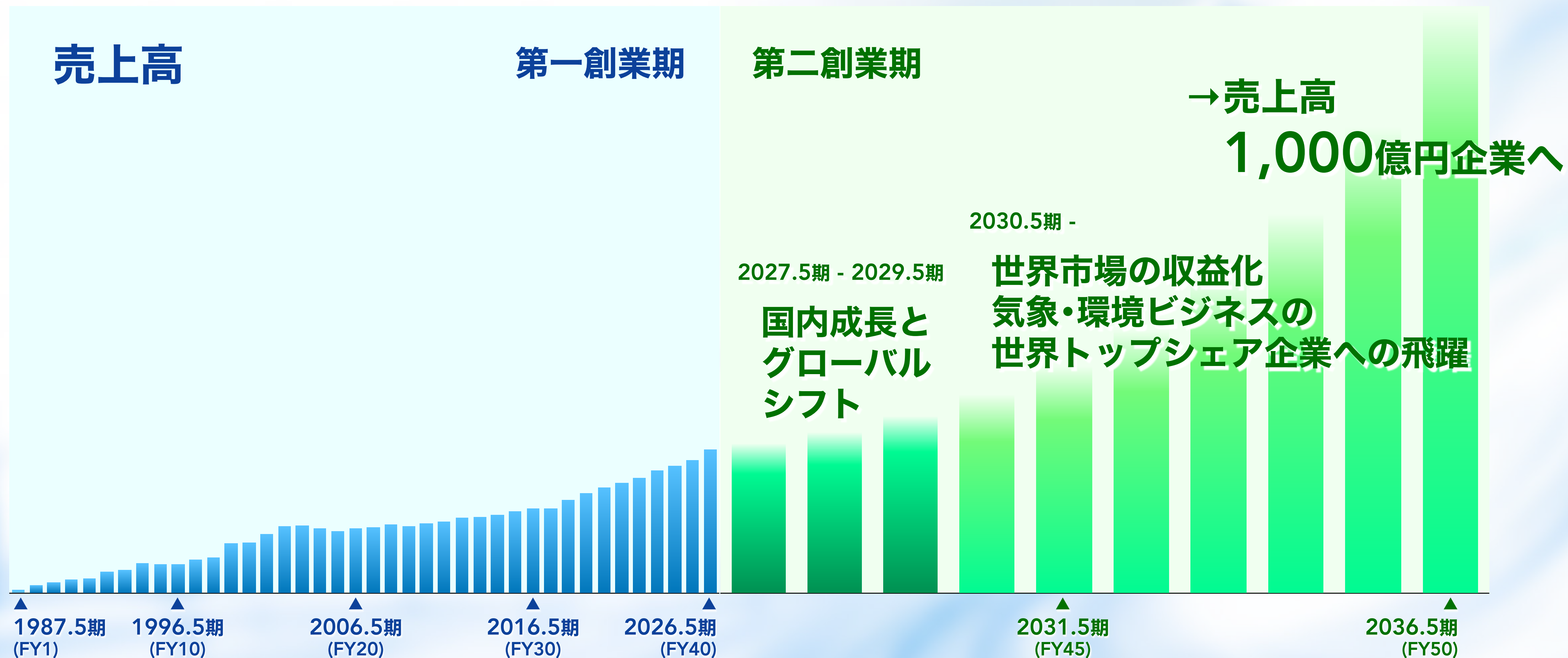
グローバル気象
ビジネス市場 (2030年予想)

約**6,000億円**

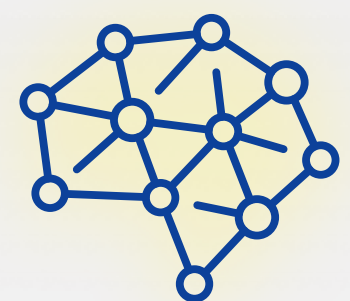
中長期的に極めて大きな
成長ポテンシャルが存在

第二創業期とは…

これまでの基盤をベースに事業をスケールさせ、
非連続な成長と拡大を目指すフェーズ



1



AI Fusion Companyへの進化と全社変革

2



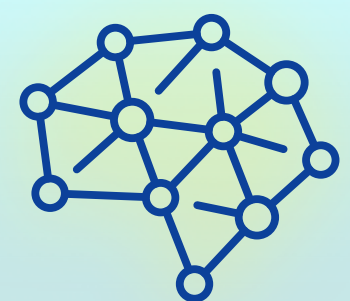
WNI型成長モデルの確立とグローバル展開

3



「蓄積」から「循環」へ 成長投資と還元を加速する資本戦略

1



AI Fusion Companyへの進化と全社変革

2



WNI型成長モデルの確立とグローバル展開

3



「蓄積」から「循環」へ 成長投資と還元を加速する資本戦略

1 AI Fusion Companyへの進化と全社変革

2027年5月までに 全プロダクトへ AIエージェントを投入

- ◆ビジネスノウハウや過去のサービス運用実績などをAIエージェントが学習
- ◆各顧客のニーズを理解した予報・提案・対話を自律的に実行し、サービス価値を一気に引き上げる



1 AI Fusion Companyへの進化と全社変革

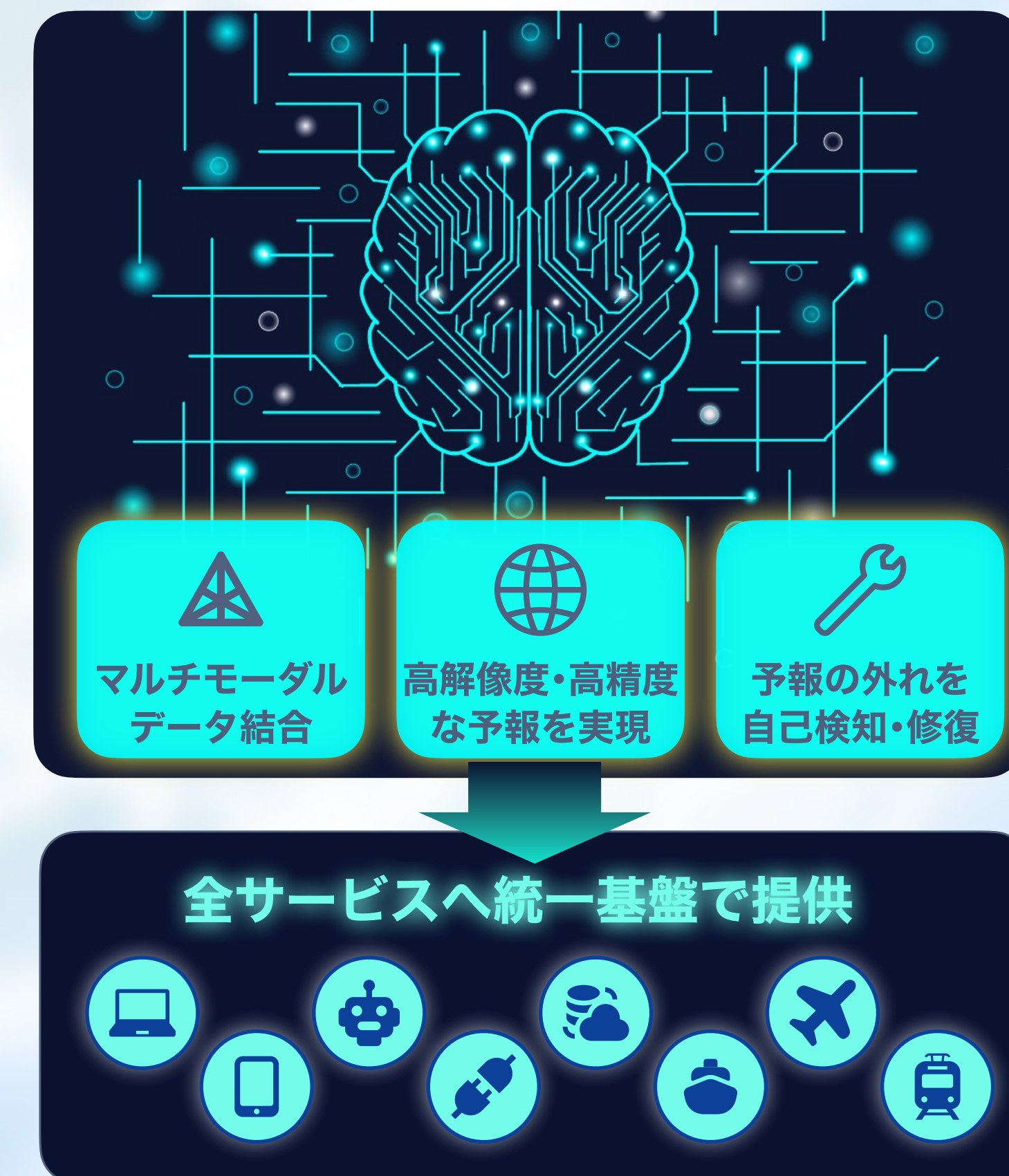
2028年5月までに 全サービスの基盤の 予報モデルをAIネイティブへ

- ◆ 予報モデルの運用環境のクラウド化に続き、予報基盤そのものもAIネイティブへ刷新
- ◆ これまで40年間蓄積してきた膨大なデータを元に全世界のあらゆる顧客に最適な予報を提供できるよう、予報の心臓部をスケーラブルにする

従来型の予報基盤



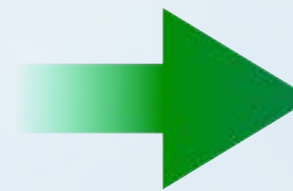
AIネイティブな予報基盤



2029年5月までに 全既存オペレーションの AI移行を完了

- ◆顧客毎の予報の編集や問い合わせ対応、支援資料作成から、リスク監視や意思決定に至るまで、全てAIで自動化
- ◆人は、AIの自律稼働と安全な制御を両立する「基盤構築」と、最前線でAIが感知できない業務の文脈を紐解き、ビジネス価値を生み出す「現場実装」にフォーカスする

従来型のオペレーション



AIへ移行



顧客ごとの予報・編集



顧客問い合わせ対応



気象リスク監視・通知



気象リスク対応支援



サービス評価資料作成



従来型オペレーションはAIが代替



人の新たな業務

AI基盤の設計

現場への実装

顧客との共創

責任ある意思決定

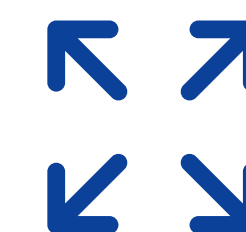
全スタッフがAI融合型の気象プロフェッショナル集団へ進化



独自知を結集



全員がAI活用



専門性を拡張

スタッフの知

顧客の知

サポーターの知

40年の気象知



WNI

Intelligence Core

すべての業務が
AIと共に進化する



営業

CS

予報士

エンジニア

etc...

1 AI Fusion Companyへの進化と全社変革

変革のスケジュール

全プロダクトへ
AIエージェントを投入

全サービスに利用する
予報モデルをAIネイティブへ

全既存オペレーションの
完全AI移行が完了

2027年5月末

2028年5月末

2029年5月末



WNI
Intelligence Core

社内独自のAI Intelligence Coreを元に
全スタッフがAI融合型の気象プロフェッショナル集団へ進化

AI Fusion
Companyへ

中期Vision 2026を支える3つの戦略の柱

1



AI Fusion Companyへの進化と全社変革

2



WNI型成長モデルの確立とグローバル展開

3



「蓄積」から「循環」へ
成長投資と還元を加速する資本戦略

全てが「掛け算」で価値が増幅される成長モデル

当社が既に所有する3つのアセット

全顧客に対する
ビジネスモデル



個人



法人



行政



全産業への専門的
ソリューション



Sea



Sky



Land



Internet



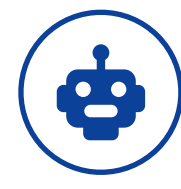
全接点に価値を
届ける独自技術



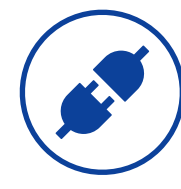
PC



Mobile



AI Agent



API



Data Cloud



飛躍的な
トップライン成長



既にグローバルに進出しているドメイン



Sea
航海気象



Sky
航空気象

売上比率



事業推進のテーマ

顕在市場の獲得加速

プロダクト進化と営業・CS体制強化により、グローバル市場でのシェア拡大を加速

周辺データによる価値拡張

海運・航空それぞれのドメイン特有データを活用し、ソリューション価値を高度化

戦略的アライアンスの推進

機動的な提携・パートナーシップにより、顧客接点と展開地域を拡大



市場ポテンシャル



大きな余地

市場の成長とともに
さらなる価値提供を加速

2029年5月までに
現状の倍にあたるTarget21,000隻の実現を目指す

船のルーティング会社 からの脱却

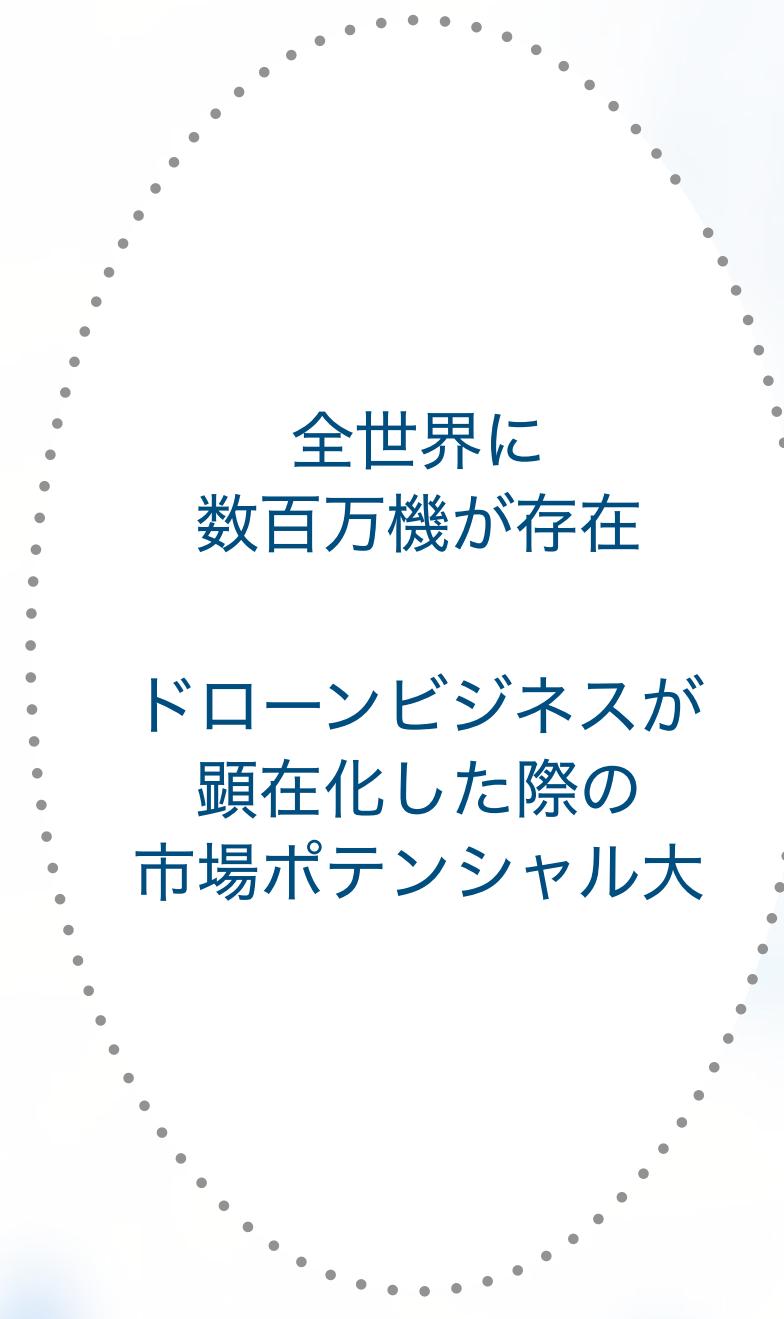
海運に関わる全てのステークホルダーの **Maritime Business Partner** へ進化する。SeaNavigatorを随時拡張し、先進テクノロジーとデータを活用した**究極の運航最適化**を実現。さらに、顧客のAX化支援、アセットの最適活用、ビジネスマッチングへと提供領域を広げ、海運ビジネス**全体の価値最大化**と収益機会の拡大を目指す。

市場ポテンシャル

CA (エアライン)

GA (ヘリ・小型機)

Drone (ドローン)



2029年5月までに

CAのTarget13,000機、GAのTarget1,800機の実現を目指す

全世界の空港へ サービス拡大

全世界の主要空港に対して、WNI独自の推薦予測を提供する体制を構築する。

AI Agentの活用により、高精度な空港予報をスケール化するとともに、全世界の揺れ実況データを活用したパイロット向け**乱気流リスク通知**で安全運航を支援する。さらに、現地気象局・航空局との連携を拡大し、新規顧客獲得と**社会実装を加速**する。

国内で圧倒的シェアのドメイン



Land
陸上気象



Internet
モバイル・インターネット気象

売上比率



事業推進のテーマ

国内圧倒的シェアの拡大加速

広告投資を継続・強化し、新サービスの浸透と顧客・利用者基盤の拡大を加速

国内成長を原資にグローバルへ挑戦

国内市場の成長資金を活用し、グローバルプロダクトの投入と海外展開を加速

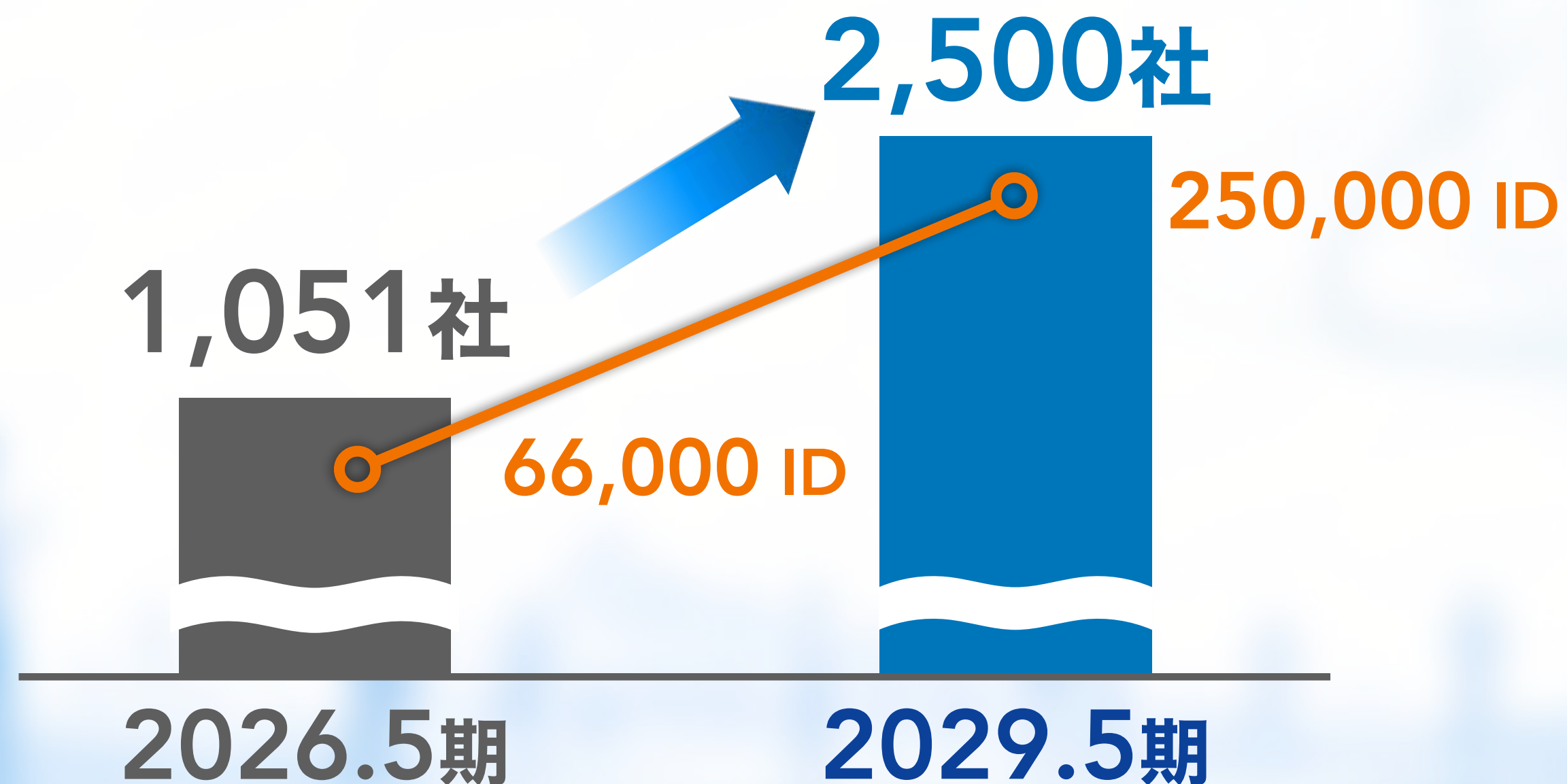
各国アライアンスによる展開基盤づくり

気象機関・行政・パートナー企業との連携を強化し、海外展開の土壌を形成



Landコアプロダクト*の 契約社数とID数

* ウェザーニュース for business、気象観測機ソラテナPro、API/
Data Cloudsサービス等、互いに連携可能なプロダクト群



コアプロダクトは 普及・拡大フェーズへ

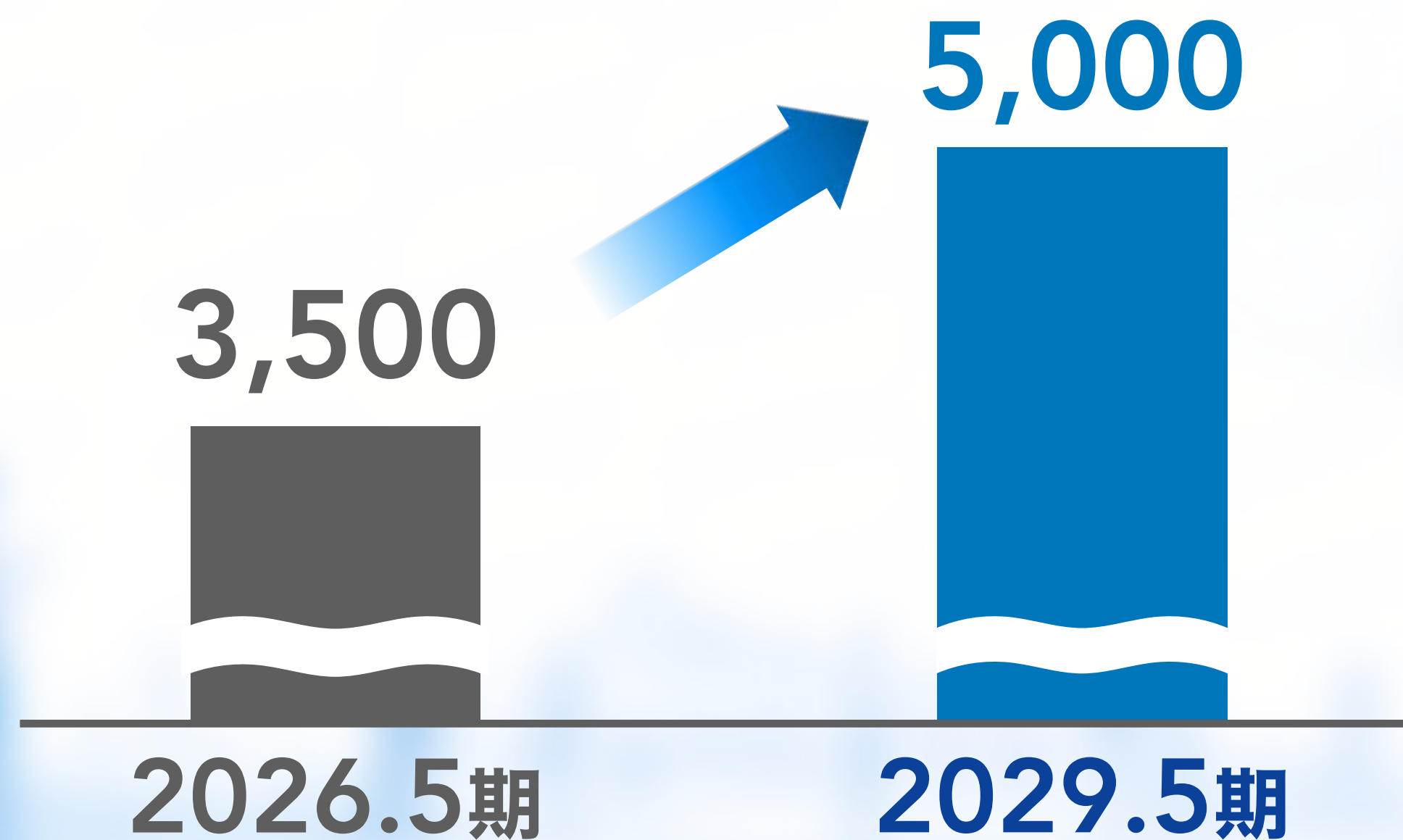
前中計までに市場適合を確認し、LAND
コアプロダクトは実証・リリースから**普及・拡大フェーズ**へ移行する。国内での導入拡大を加速しながら、プロダクト群の連携と**AI Agentによる機能強化**により、顧客価値を継続的に拡張する。あわせて、ローカル人材の獲得とマーケティングを強化し、**グローバル市場への展開基盤を構築**する



Internet Domain 成長戦略

累積DAU

単位：百万DAU



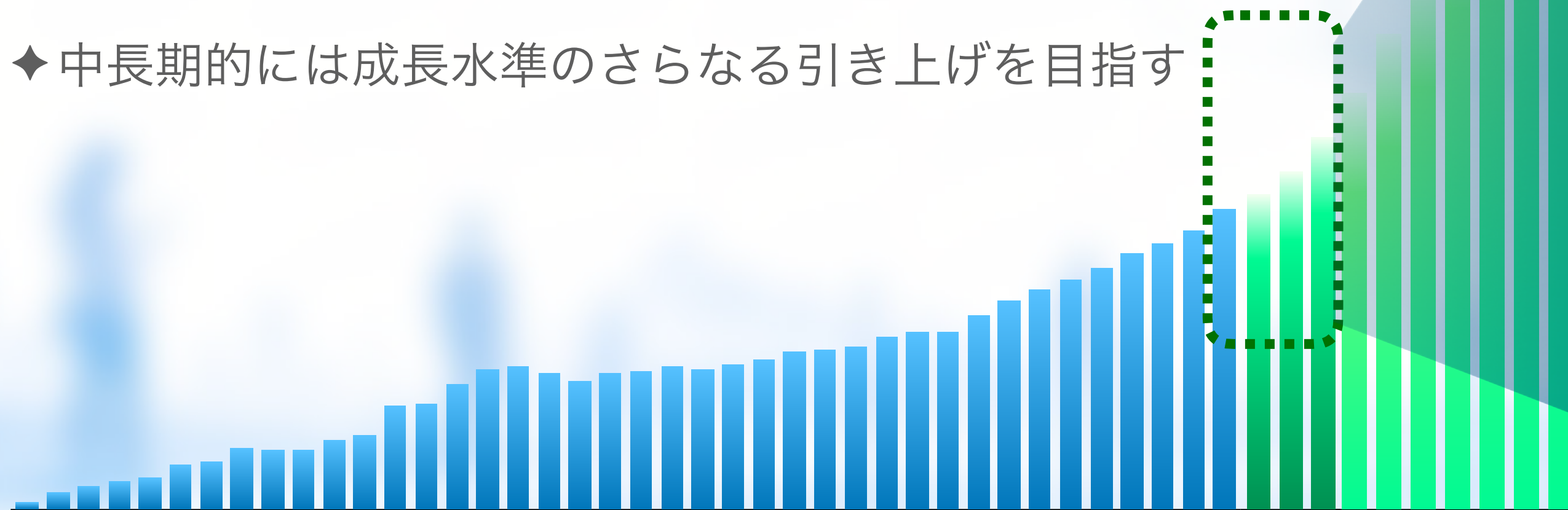
世界No.1 天気アプリへ挑戦

世界最高水準の予測精度と、世界最大級の利用者基盤を目指す。日本No.1気象アプリで培ったユーザー接点、気象コンテンツ、運用ノウハウを武器に、グローバル展開を加速する。大手IT企業・モバイルメーカーとの連携やAIによるパーソナライズを通じて、ユーザー体験と利用頻度を高め、**広告事業の価値創造と収益成長**を牽引する。

2 WNI型成長モデルの確立とグローバル展開

3年以内に全ドメインが
YoY売上高成長率
10%以上へ到達

◆中長期的には成長水準のさらなる引き上げを目指す



中期Vision 2026を支える3つの戦略の柱

1



AI Fusion Companyへの進化と全社変革

2



WNI型成長モデルの確立とグローバル展開

3



「蓄積」から「循環」へ
成長投資と還元を加速する資本戦略

「蓄積」から「循環」へ

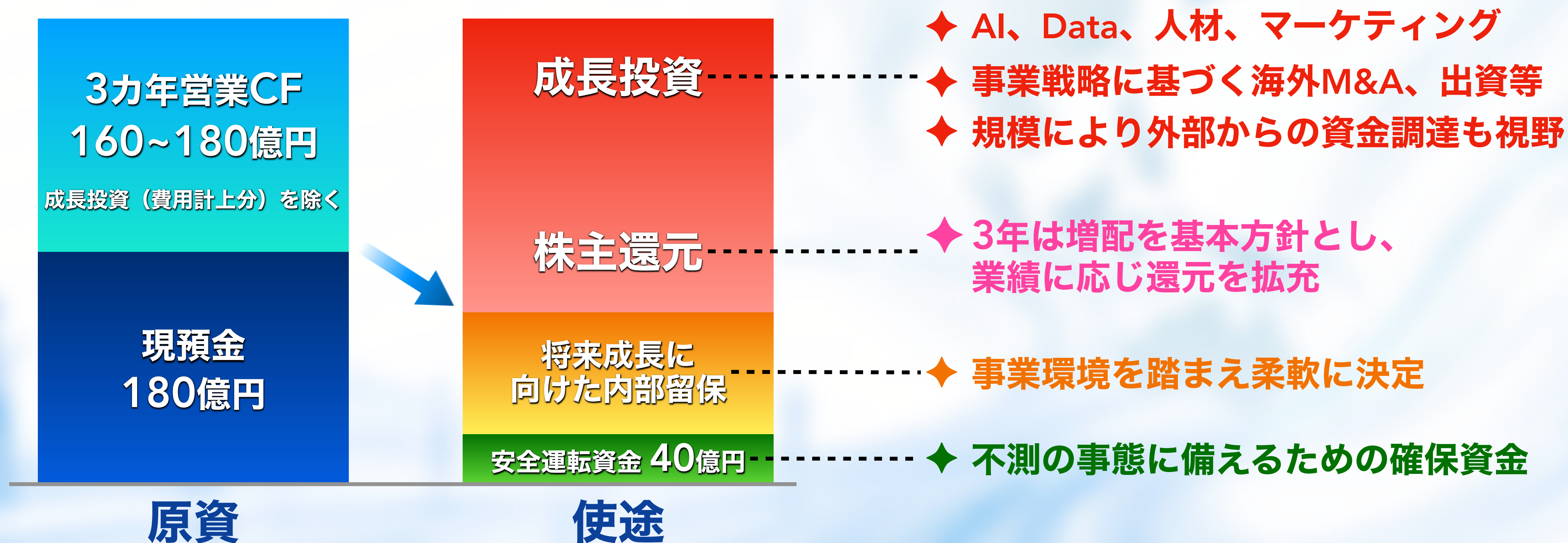
盤石な財務基盤を背景に、戦略的投資と還元を加速

トップラインを伸ばす戦略的な成長投資を実行

M&Aやアライアンスの実施

今後3カ年は増配を基本方針とし、過去最大の株主還元を実施

手元流動性と3カ年累計の営業キャッシュ・フローを最大限活用し、
持続的な成長投資と積極的な株主還元を両立させます



成長投資の重点項目



技術投資 (AI)

全てのプロダクトにAIエージェントを搭載
予報システムのAIネイティブ化



インフラ投資 (データ)

世界各国の気象データ及び
事業価値を高める気象以外のデータの購入



人材投資

AI融合型の気象プロフェッショナル集団への進化
グローバル成長を牽引する人材基盤の構築



マーケティング投資

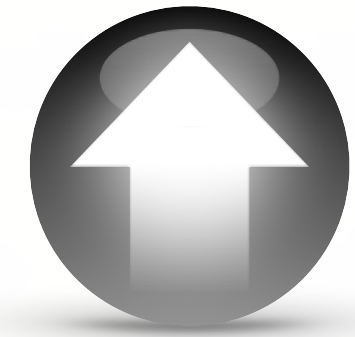
広告投資による国内事業の成長
グローバルでの認知・利用者増に向けたブランディング投資



事業投資 (M&A)

事業基盤や顧客基盤の強化
海外展開を加速

3つのValueを強化するM&A・アライアンス方針



3つの強みを補完・拡張するデータ・技術・顧客基盤を獲得

- 高度な予測技術
- 予報モデル
- アルゴリズム
- 特許 の獲得



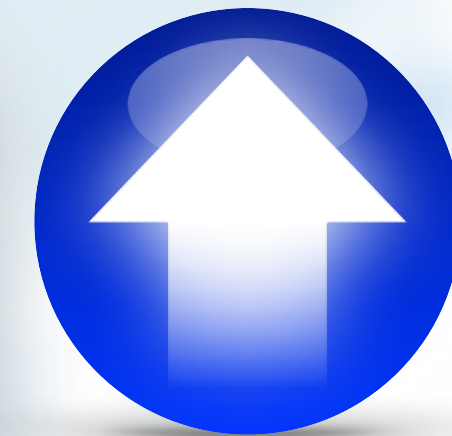
Forecast

豊富なデータと独自予報モデルによる業界トップレベルの予報技術



Data

創業以来蓄積してきた膨大な気象データ・ビジネスデータ



- 未保有の固有データ
- 各国の気象データ
- ビジネスデータ の獲得

- 未開拓のユーザー層
- 法人顧客基盤
- 地域コミュニティの獲得

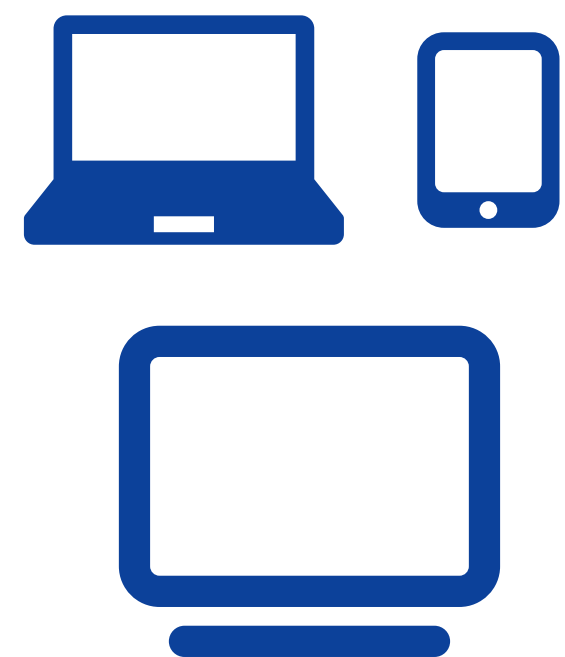


Community

サポーターコミュニティを育て、データとインサイトを生み出す力



M&A・アライアンス 対象方針



気象メディア媒体 を保有する企業

- ◆グローバルでの気象メディア
ポジションの拡大



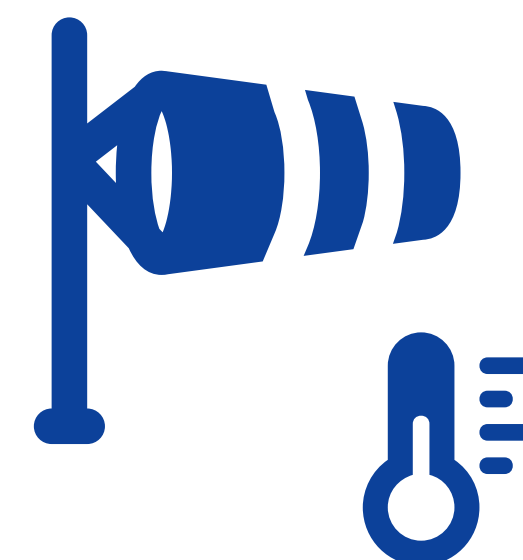
各国の気象会社

- ◆各国での事業基盤の即時確立
- ◆保険・農業・防災・エネルギー・
建設・環境市場などを視野



独自の気象・環境 データ保有企業

- ◆船舶や航空、陸上データにお
ける優位性の獲得



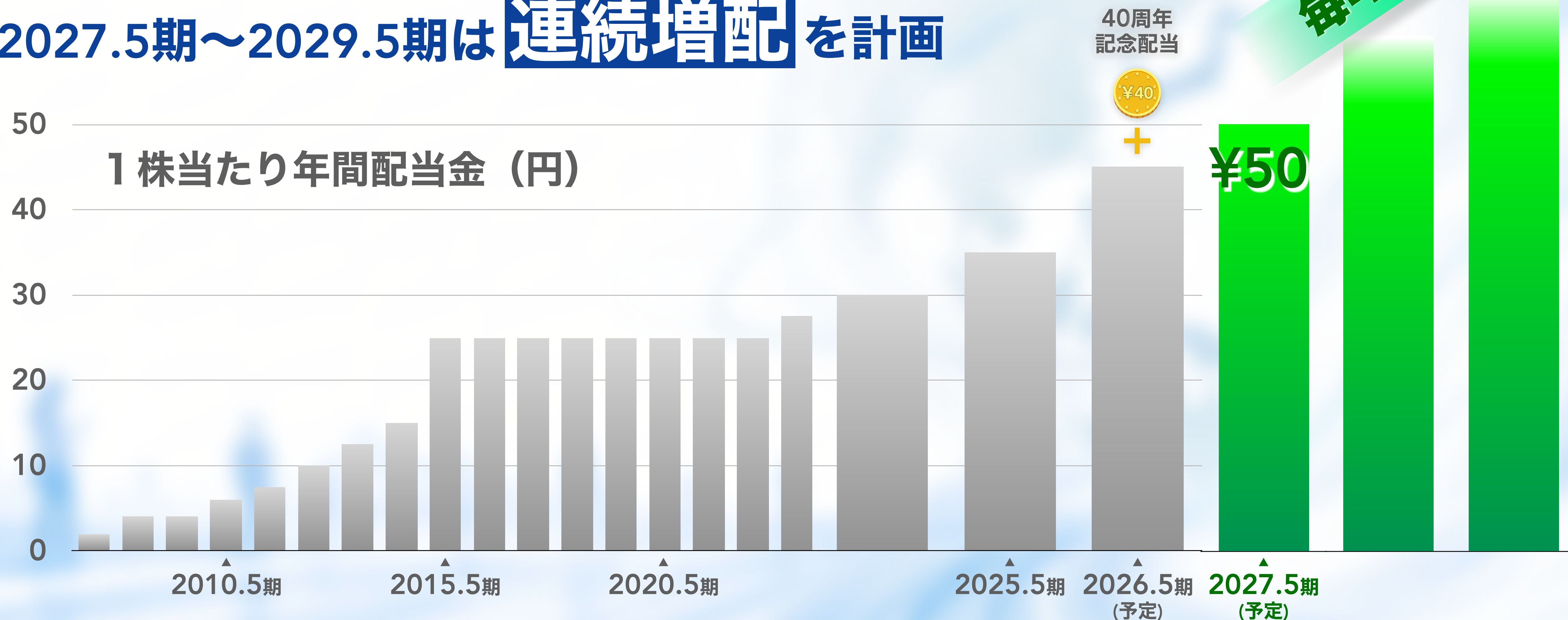
優れた観測技術・ 予報技術を持つ企業

- ◆IoTセンサー/観測器メーカー等
- ◆日本における予測精度No.1から
世界No.1を目指す

株主還元方針

積極的な成長投資を第一優先としつつ株主還元にも注力
普通配当における累進配当の維持を基本方針に

2027.5期～2029.5期は**連続増配**を計画



第二創業期は、事業をスケールし、売上を急拡大するフェーズ

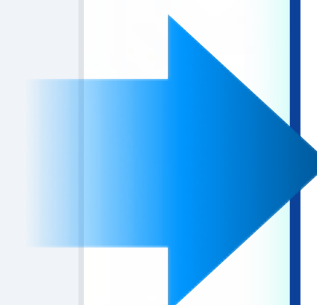
向こう3年間で、持続的な高い売上成長軌道の確立と、粗利益率（売上総利益率）の最大化を図る

前・中期経営計画

売上高 **260** 億円以上

営業利益 **20** %以上

ROE **15** %以上



中期Vision 2026

2029.5期 売上高成長率 **10** %以上

売上高総利益率 **60** %以上

2027.5期～2029.5期
普通配当の**3** 力年連続増配

中期Vision 2026 エグゼクティブサマリー



第二創業期の経営方針

2027.5期～2029.5期

国内成長とグローバルシフトを実施

2030.5期～

世界市場を収益化し、気象・環境ビジネスの
世界トップシェア企業を目指す

財務目標

2029.5期

売上高成長率 10%以上

売上高総利益率 60%以上

2027.5期～2029.5期

普通配当の3カ年連続増配

成長を牽引する3つの基本戦略

AI Fusion Companyへの進化と全社変革

2029年までに全プロダクト、予報モデル、社内オペレーションを
「完全AIネイティブ」へ移行。専門性を拡張し、全スタッフがAI
を駆使する気象プロフェッショナル集団へ変革する。

WNI型成長モデルの確立とグローバル展開

海・空・陸・インターネットの全4ドメインでYoY10%超の成長の達
成を目指す。航海(2.1万隻獲得)・航空のグローバルシェア拡大、
LANDおよびInternetは国内成長とグローバル展開へ挑戦する。

「蓄積」から「循環」へ 成長投資と還元を加速する資本戦略

盤石な財務基盤と営業キャッシュ・フローを活かし、AI・デー
タ・M&A等へ重点投資。同時に、3期連続増配を基本方針とする
過去最大の株主還元を実行。還元と持続的成長の両立を実行。



将来に関する記述等について

- ◆ 当社は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき本資料を作成しておりますが、本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。
- ◆ また、本資料に記載されている目標や業績予想など、将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績や結果は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる場合があります。

Appendix



1970年1月、福島県いわき市————

小名浜港を襲った爆弾低気圧により、貨物船が沈没。
15名の尊い命が奪われました。

**「本当に役立つ気象情報があれば、
この事故は防げたかもしれない」**

創業者の石橋は、この事故をきっかけに気象の世界へ進み、
1986年にウェザーニューズを設立しました。

「いざという時に人の役に立ちたい」

その思いが、現在のウェザーニューズの原点です。





船乗りの命を守りたい。
地球の未来も守りたい。

ウェザーニューズは、**「船乗りの命を守りたい」**という思いから始まった会社です。その原点は、今も全スタッフのDNAとして受け継がれています。

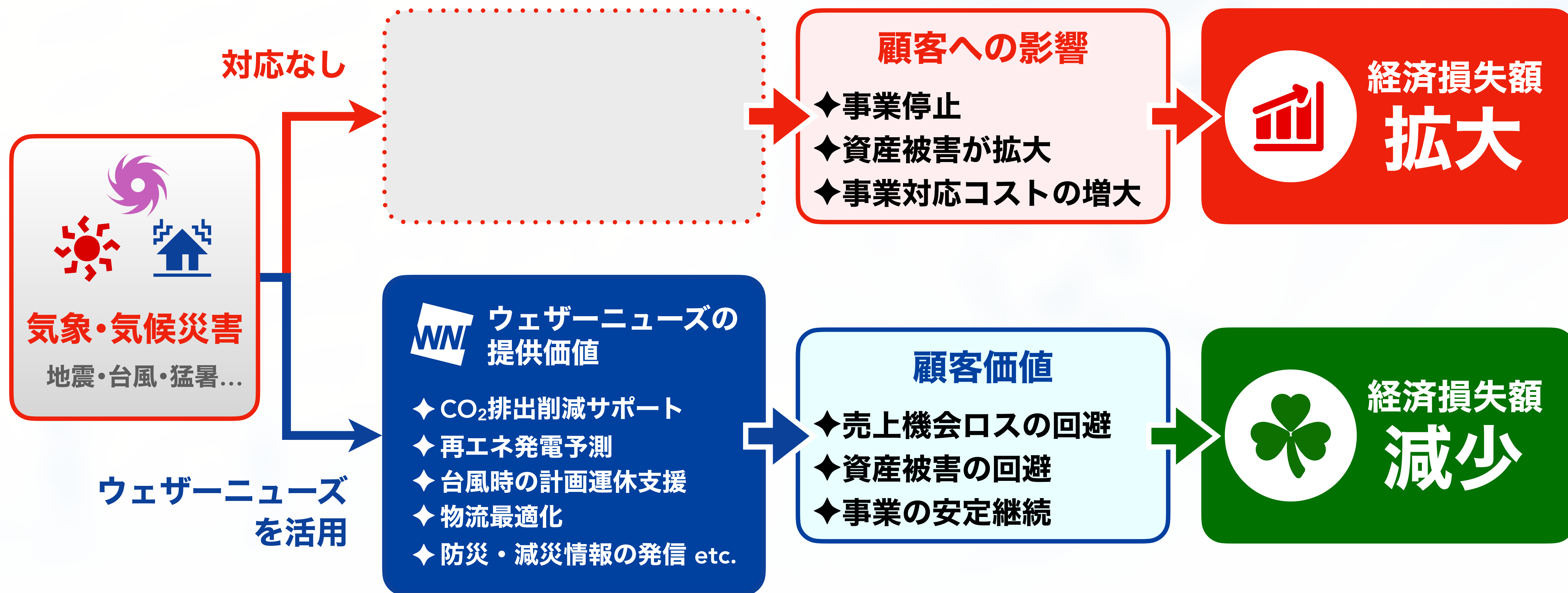
海の安全を支えることから始まった事業は、陸・空・インターネットへと広がり、今では個人・企業・行政など多様なサポーターとともに、気象リスクへの備え・事業運営の最適化・脱炭素社会への貢献など、より大きな社会課題に向き合う存在へと進化してきました。

気象情報は、人の命を守るだけでなく、社会の意思決定を支え、企業活動を最適化し、地球環境への負荷を減らす力にもなります。私たちはその可能性を信じ、創業の想いを地球規模へ広げていきます。

船乗りの命を守りたい。その規模を地球規模に広げ、**「地球の未来も守りたい」**

気候変動という人類共通の課題に対しても、多くのサポーターとともに挑戦し、このDreamの実現を目指します。

気象サービスの価値が「全対策コスト」から「持続的成長に向けた投資」に昇華



Domain別 グローバル展開戦略の主要要素



	Sea 航海気象	Sky 航空気象	Land 陸上気象	Internet モバイル・インターネット気象
グローバル展開のフェーズ	顕在市場での拡販		市場の新規開拓	
注力地域	全世界	アジア		全世界
主力プロダクト	SeaNavigator	SkyAviators	ウェザーニュース for business	ウェザーニュース アプリ (Global)
重点投資項目	AIエージェント			
	営業体制		マーケティング・広告	
			現地組織体制の構築	
パートナーシップ	主要な業界団体・顧客など		各国の気象庁	大手IT企業 モバイルメーカーなど

当社の強み～3つのValue



Data

創業以来蓄積してきた膨大な
気象データ・ビジネスデータ

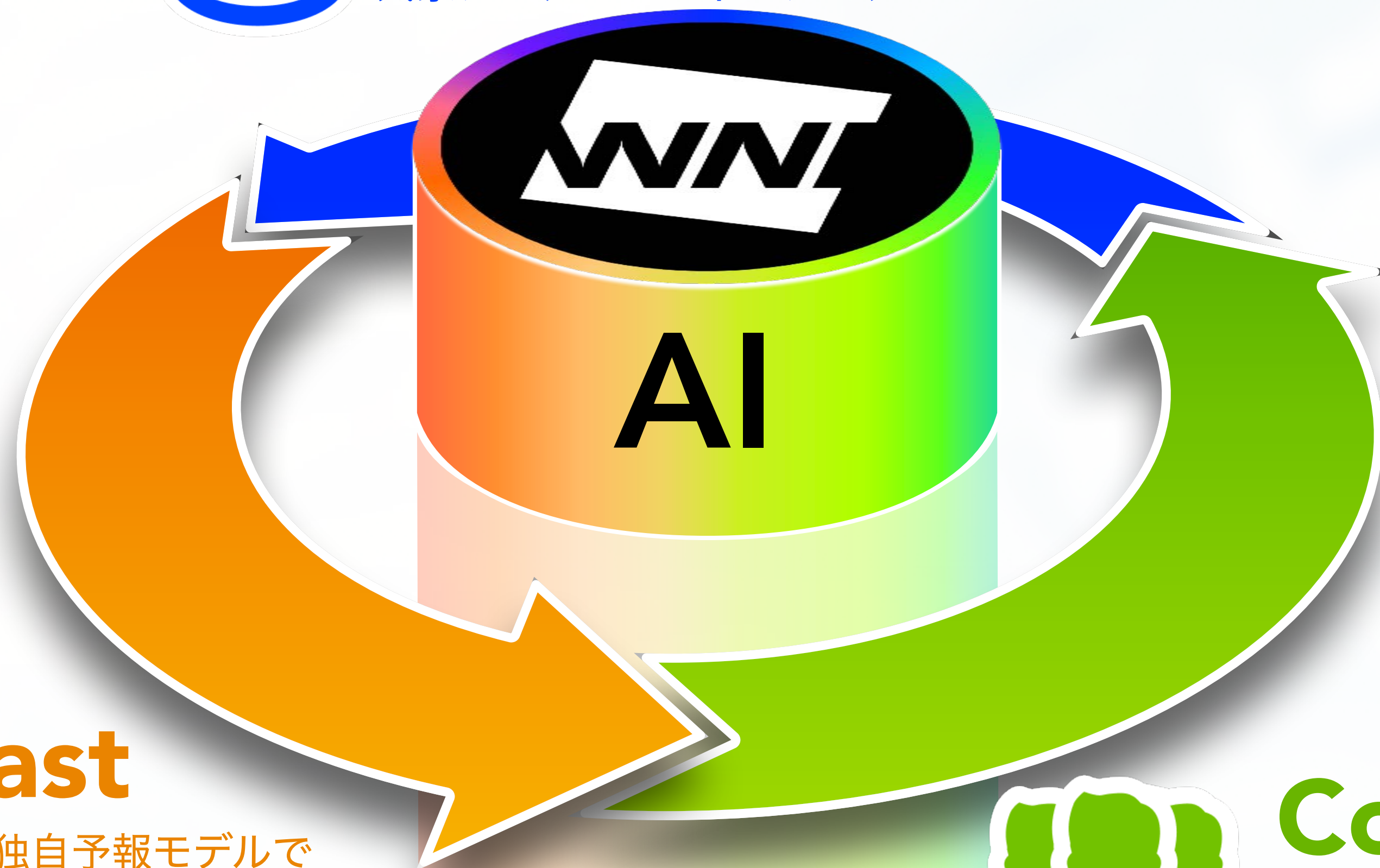
引き続き世界中の気象局や個人・企業など
多くのサポーターと協力し、世界最大の気
象/環境データベースを充実させます。

これまで蓄積したノウハウを
活用し、大量のデータと最新
のAI技術を組み合わせ、業界
No1の予報を提供し続けま
す。



Forecast

豊富なデータと独自予報モデルで
業界No.1の予報を提供



各コミュニティの意見を積極的
に取り入れながら、各々が抱える
安全性・経済性・環境性の最適化
に対応するため、豊富なデータと
予測技術を駆使し、その水先案内
役を目指します。



Community

個人・法人サポーターの
コミュニティから生まれる新たなデータ

サステナビリティ経営の推進

マテリアリティ解決を通じてDreamを実現します

マテリアリティ
(重要テーマ)

気候変動の緩和

気象サービスの提供を通じて企業や社会の環境負荷を低減

強靱な街づくり

気象・気候の情報提供で自然災害に強いレジリエントな都市を実現

自然と共に生きていくコミュニティ

サポーターとの共創で日常の豊かな生活といざという時の防災力が両立する社会を実現

技術革新&パートナーシップ

誰もが気象情報にアクセスできる社会の実現

ダイバーシティ&インクルージョン

気象・気候への想いを持つ人材が輝ける会社文化の創造

Dream

船乗りの命を守りたい
地球の未来も守りたい

事業を通じた社会への貢献

気候変動
の緩和

強靱な
街づくり

自然と共に生きて
いくコミュニティ

価値創造を推進するための重要な基盤

技術革新&
パートナーシップ

ダイバーシティ&
インクルージョン

事業を通じた地球環境への貢献

気候変動の緩和 脱炭素への挑戦



自社およびサプライチェーン全体での排出量削減を推進し、持続可能な地球環境を目指します。

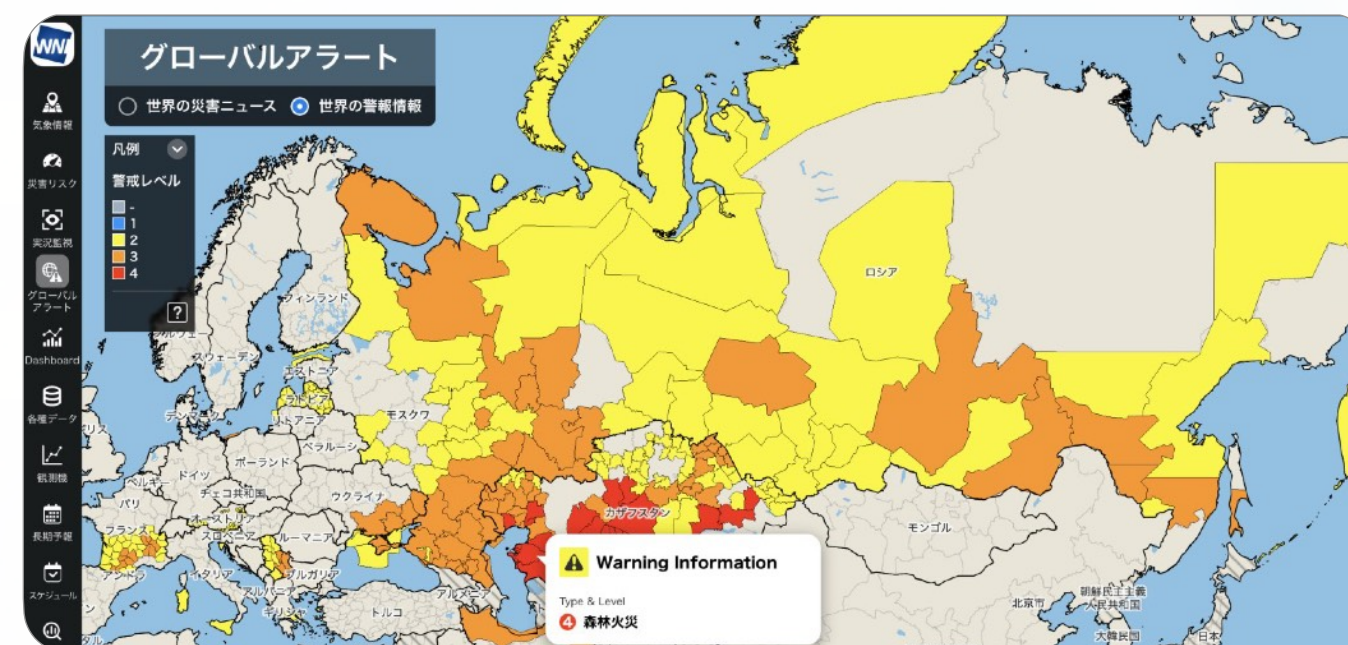


【航海気象】
CO2削減貢献量：298万トン

強靱な街づくり 防災・減災の推進



早期警戒情報のグローバルな提供により、気象災害に強いレジリエントな都市の実現に貢献します。



早期警戒情報のデータ取得率：
98%（150カ国）

自然と共に生きていくコミュニティ 自然共生



サポーターとの共創や自然機能の可視化を通じて、生物多様性の保全と豊かな暮らしを両立させます。

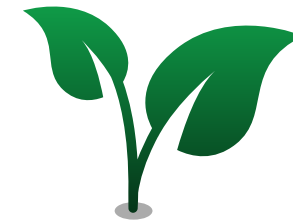


ウェザーリポートが累計1億通突破
(2005.11～2025.7)

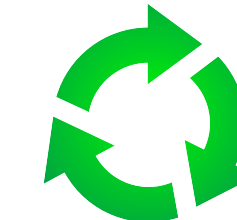
第二創業期の目指す姿



あらゆる産業の
意思決定に気象AI Agent



防災・減災コミュニティを
各地で創出・拡大



事業を通じた
地球環境への貢献



日本で創出・発展させてきた気象サービスの価値をグローバルに展開し、
世界中の人々の安全な暮らしと経済の発展を実現します

中期Vision 2026 非財務目標



マテリアリティ	目的	指標	中期目標 (~2030.5期)	Outcome
気候変動の緩和	自社のGHG削減	Scope1,2排出量	実質ゼロ	気象サービスの提供を通じて、企業や社会全体の環境負荷低減
	サプライチェーン排出削減	Scope3排出量	25%削減 (2022比)	
強靱な街づくり	全世界の人々の災害リスク情報へのアクセス向上	早期警戒情報の公開データ取得国の割合	100% (170カ国)	すべての人が気象リスクを知り、適切に行動できる世界の実現
		早期警戒情報の人口カバー率	99%	
自然と共に生きていく コミュニティ	市民科学による気象・生態系の把握と保全	気象・自然に関するウェザーリポート数	累計1.2億通* *2012年以降の累計	気象・自然コミュニティとの共創により、気候変動適応と防災・減災を推進し、人と自然が共生する持続可能な社会を実現する
	自然生態系を防災に活かすNbS (自然を活用した解決策) への取り組み	自然共生サイト等への技術支援	-	
		気象データ・IoTセンサー等を用いた自然機能（水資源涵養・洪水緩和等）の可視化	-	
技術革新＆ パートナーシップ	現地気象データ取得網の構築（各国・機関との観測協力）	現地気象データ協力協定（MoU）締結国数	30カ国	世界中の人々が高品質な気象情報を活用できる社会インフラを構築する
	高精度な予測技術	予測精度	90%以上	
ダイバーシティ＆ インクルージョン	多様性ある組織づくり	女性管理職比率	20%	様々なバックグラウンドを持つ人材が集まることで、より多くの人に届く気象サービス
		女性活躍推進に関する認証取得（えるぼし認証・くるみん認証等）	-	
		男性スタッフの育児休業取得率	75%	

